

【別添】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名： 東京都フロアボール連盟 ]

[記載日： R7年 8月 4日 ]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
<b>原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・ 連盟の規約を遵守している ・ 上部団体である日本フロアボール連盟のガバナンスコードを参考とする	A
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・ 関係法令、条例等を遵守している	A
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・ 2年に1度役員改選をしている ・ 組織図を作成し、体制の整備をしている	A

<b>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b>	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 年次総会にて加盟団体に基本方針を示している	
<b>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b>	
(1) 役職員に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 役職員全員ではなく一部となっているので、現状取り組みとしては弱いので、改善していく	
(2) 指導者, 競技者等に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 役職員全員ではなく一部となっているので、現状取り組みとしては弱いので、改善していく	
<b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い, 公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 支出の際、適切な領収書を手に入れている ・ 適切な領収書をもとにして決算書を作成している ・ 会計報告は事業ごとに行い、理事会で質疑応答ののち承認を得ている ・ 監査を設置している ・ 年次総会にて年度決算書を報告している	
(2) 国庫補助金等の利用に関し, 適正な使用のために求められる法令, ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 法令やガイドライン (手引き) 等を遵守している	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 会計担当、監査担当と役割を明確に分けている	
<b>原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに, 組織運営に係る情報を積極的に開示することにより, 組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b>	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 参加の団体や会員に対して公平、公正になるよう、情報開示は適宜行っている ・ 開示ツールの見直しが必要 (公式 HP がないので)	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 求めに応じて開示する準備はできている ・ HP 等の開設に向けた取り組みが必要	